

令和2年度

# 上伊那特別支援教育研究会 総会 議案書

## 目次

- ①令和2年度 上伊那特別支援教育研究会 役員および事務局の構成
- ②令和元年度 上伊那特別支援教育研究会事業報告
- ③令和元年度の研修会の感想等（第1回研修会～第3回研修会）
- ④令和元年度 上伊那特別支援教育研究会 会計報告
- ⑤令和2年度 上伊那特別支援教育研究会 事業計画（案）
- ⑥令和2年度 上伊那特別支援教育研究会 予算（案）
- ⑦上伊那良く別支援教育研究会 規約

令和2年4月

上伊那特別支援教育研究会

令和2年度 上伊那特別支援教育研究会 役員および事務局員の構成

	氏名	所属	電話番号	ファックス番号
会 長	齋藤 良直	伊那養護学校 校長	72-2895	76-9095
副会長	黒澤 利恵	駒ヶ根市つくし園 園長	82-4012	82-4144
	神山 明彦	伊那養護学校 教頭	72-2895	76-9095
理 事	小松 賢吾	伊那養護学校 教頭	72-2895	76-9095
	井上 ユミ	伊那市小鳩園 園長	72-2576	72-2576
	向山 恵	箕輪町若草園 園長	79-7070	79-7070
	野溝万智子	南箕輪村たけのこ園 園長	98-6627	98-6637

	氏名	所属	電話番号	ファックス番号
事務局	清水 千穂	辰野西小学校	0266 - 41 - 0383	0266 - 41 - 0384
	竹松 恵子	伊那東小学校	72 - 2007	72 - 2022
	前原 幸太	赤穂東小学校	83-7155	81-7266
	唐澤 典之	伊那養護学校 小学部	72-2895	76-9095
	間宮 仁子	伊那養護学校 小学部	72-2895	76-9095
	伊藤 瑞恵	伊那養護学校 中学部	72-2895	76-9095
	小林 千景	伊那養護学校 中学部	72-2895	76-9095
	田村由加里	伊那養護学校 高等部	72-2895	76-9095
	塩澤 悠	伊那養護学校 高等部	72-2895	76-9095

# 令和元年度 上伊那特別支援教育研究会 事業報告

## 〈研修の全体テーマ〉

「発達障害等のある子どもたちの育ちをどうとらえ、どうつなげていくか」

### ① 会員数

会員：学校関係160名、保育園関係141名、行政関係1名 計302名

### ② 活動状況

○年3回の研修会を企画・運営

○会員募集及び研修会案内を学校関係以外に保育園関係、保護者、行政関係に行った。

## 総会及び第1回研修会

日時：6月22日（土）9：30～12：00 ○場所：ニシザフいなっせホール

演題：「ことばを育む」

講師：伊那北小学校 福島 徹 先生

## 上伊那圏域サポート会議

日時：7月27日（土）9：30～15：00 ○場所：いなっせ・伊那市生涯学習センター

主催：上伊那圏域特別支援教育連携協議会（かみとくれん）

「かみとくれんサマースクール 夏だ！みんなで 学ぼう つながろう 」

内容：各分野研修企画（医療・福祉・教育 等）

昼食：事業所等による販売

## 第2回 研修会（講演会）

日時：10月26日（土）9：30～12：00 ○場所：ニシザフいなっせホール

演題：「子ども理解を深めるための家族支援」

講師：あいち障害者センター理事長・日本福祉大学元副学長 近藤 直子 先生

## 第3回 研修会（講演会）

日時：1月25日（土）9：30～12：00 ○場所：ニシザフいなっせホール

演題：「スモールステップの指導とは ～3ボールカスケードを通して～」

講師：東北福祉大学教授 樋口 一宗 先生

## その他

平成31年4月18日（木）第1回事務局会 場所：伊那養護学校会議室

- ・30年度事業報告、会計報告について
- ・令和元年度事業計画、予算案について
- ・総会、第1回研修会に向けて

令和 2年1月 9日（木）第2回事務局会 場所：伊那養護学校会議室

- ・令和元年度研修反省
- ・令和2年度の研修の方向について
- ・令和2年度の日程について
- ・第3回研修会に向けて

## 令和元年度の研修会の感想等

### 第1回研修会

演題：「ことばを育む」

講師：福島 徹先生（伊那北小学校）

- ・ほめることの重要性や、個の特性によって支援の仕方を変えていくことの大切さ等に改めて気づくことができた。
- ・保護者の方にも伝えていきたい。
- ・楽しく笑いながら学べる内容で、たいへん興味深く、聞けた。福島先生お生い立ちや、伊那北小での取り組みに驚くとともに、ぜひ真似してみたいと思った。具体的にすかさずほめるということを、明日からの学校生活に活かしていきたいと思った。ほめるにも、どんな言葉でほめるかについても考えて、ほめなければいけないというのは、とても勉強になった。
- ・かなが大切・・・本当にそう思う。その獲得へのアプローチを日々行っている。個人トレーニング、集団遊び・・・いずれにせよ、学習を前向きに捉えられる子にみんななってくれたら・・・と願って取り組んでいる。
- ・「教える」ではなく「育む」を意識して子どもたちと関わっていきたいと思った。
- ・「目からうろこ」の話で感動した。実践していきたいと強く思った。
- ・ほめることは、以前から意識的にやっていて、また、生徒の姿に対する感動は「すごいね！」「うれしい」「ありがとう！」と言葉で伝えたいと思い、高校に勤めているときも伝えていた。自分が大切だと思ってきたことが特別支援教育でも大切なのだと今日のお話で自信がもてた。
- ・資料にないお話まで楽しかった。引き込まれた。
- ・最後の脳卒中のリハビリの話、身内にリハビリ中でなかなか改善が見られない者がいるので、光がさした気がする。話してみようと思った。
- ・人生のアップデートしてきたいと思います！
- ・いただいた資料は、とても大切なことが書かれていたので、これから有効的に使わせていただく。

### 第2回研修会

演題：「子ども理解を深めるための家族支援」

講師：近藤 直子先生（あいち障害者センター理事長・日本福祉大学元副学長）

- ・子どもをよく見て、願いや関心を知る。そこから環境を広げるアイデアが大切（多数）

- ・子どもが自分から動き、できることの素晴らしさを実感させてあげる取り組みが大切
- ・チームワーク（他機関との連携）よくケース会議を沢山もつことが大切（多数）
- ・保護者、保育者にもねぎらいの言葉が大切。褒めて認めること。（多数）
- ・保護者が笑顔になれる情報を伝えていきたい。子どもと保護者の願いは違うが、橋渡しになることが大切。家庭との関係作りを大事にしたい。（多数）
- ・昼と家庭での子どもの様子は違う。保護者の思いにも共感していきたい。（多数）
- ・職場で考えを統一することが課題だと感じた。（多数）
- ・知的障害を持つこの母親として、とても救われた。
- ・事例が多く具体的でわかりやすかった。ユーモラスで楽しかった。毎回新鮮（多数）
- ・就学前の保健師の役割の大切さを知った。（多数）
- ・先生が信頼されると子どもの気持ちが外へ向く。子どもが自分から変わろうとする気持ちを育てたい。子どもはみんな、できるようにになりたい、楽しくやりたいと思っている。（多数）
- ・親としての立場からも勉強になった。（多数）

### 第3回研修会

演題：「子ども理解を深めるための家族支援」

講師：近藤 直子先生（あいち障害者センター理事長・日本福祉大学元副学長）

- ・講演がわかりやすくてもっとききたかった。
- ・スモールステップの必要性を強く感じた。個に応じて対応していきたい。
- ・スモールステップを通してできそうになり、自信がついて、できるようになりたい意欲が湧いてきたことを感じた
- ・他の職員にも伝えて行きたい。
- ・演習があって楽しみながら、学べた。身体と頭の体操ができた。身体で覚えられた。
- ・有意義だった。自分の保育を振り返り改めて学べた。
- ・ポジティブな言葉がけを意識したい。
- ・教わる側の気持ち、できない子の気持ちがわかった。
- ・ひとつ前に戻るとき、戻ってみるといい気持ちになった。
- ・先生方との交流もあり楽しかった。
- ・成功の見通しを持たせることの大切さを学んだ。
- ・脳のはたらき、自分の脳の癖を知り、勉強したくなった。

令和元年度

## 上伊那特別支援教育研究会 会計報告

総収入額	337,970
総支出額	271,363
差引残高	66,607

## 1. 収入内訳

摘要	金額	備考
前年度繰越金	65,370	
会費	26,800	会員 134 名× 200 円
	28,800	24 名× 1,200 円
	68,000	136 名× 500 円
上伊那教育会より補助金	136,000	教育会員 136 名× 1,000 円
聴講費	13,000	第1回：7人第2回：12人第3回：7人×500
利息	0	
合計	337,970	

## 2. 支出内訳

摘要	金額	備考
講演会費	135,906	講演料、講師旅費、手土産代、接待費等
会場使用料	51,000	生涯学習センターホール使用料
役員会費	8,113	事務局会旅費、茶菓子代
事務費	34,850	封筒、用紙、乾電池、接待用品等購入費
通信費	11,494	通知発送代
その他	30,000	かみとくれん協力金
合計	271,363	

残金 66,607 円は次年度に繰り越します。

以上 上伊那特別支援教育研究会会計報告いたします。

令和2年 3月 31日

事務局会計 伊藤 瑞恵 印影省略

上記の通り相違ないことを認めます。

令和2年 3月 31日

令和元年度監査者 渡辺 孝次 印影省略

## 令和2年度上伊那特別支援教育研究会 事業計画（案）

### 〈研修の全体テーマ〉

「発達障がい等のある子どもたちの育ちをどうとらえ、どうつなげていくか」

#### 第1回 総会及び第1回研修会

○日時：6月27日（土）9：30～12：00 ○場所：ニシザワいなっせホール

渡辺 孝次 先生（伊那養護学校 地域連携支援室）による講演会を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、上伊那教育会からの事業中止の連絡を受け、中止とさせていただきます。

#### 上伊那圏域サポート会議

○日時：7月25日（土）9：30～15：00 ○場所：伊那市防災センター  
主催：上伊那圏域特別支援教育連携協議会（かみとくれん）

#### 第2回 研修会

○日時：11月21日（土）9：30～12：00 ○場所：ニシザワいなっせホール

##### 講演会

内容 「未定」

講師 小栗 正幸 先生（特別支援教育ネット代表 など）

#### 第3回 研修会

○日時：令和3年1月23日（土）9：30～12：00 ○場所：ニシザワいなっせホール

##### 講演会

内容 「未定」

講師 沓掛 英明 先生（長野県小県郡青木村教育長）

#### その他

4月16日（木） 第1回事務局会 場所：伊那養護学校会議室⇒中止

1月 8日（金） 第2回事務局会 場所：伊那養護学校会議室

## 令和2年度上伊那特別支援教育研究会 予算（案）

1. 収入の部 337,607 円

内訳

摘要	令和2年度予算額	令和元年度予算額	増減	備考
前年度繰越金	66,607	65,370	1,237	
会費	28,000	30,000	-2,000	教育会員 140名× 200円
	36,000	36,000	-3,400	教職員 30名× 1,200円
	69,000	70,000	-1,000	その他 138名× 500円
上伊那教育会より助成金	138,000	140,000	-2,000	教育会員 138名× 1,000円
合計	337,607	341,370	-3,763	

2. 支出の部 337,607 円

内訳

摘要	令和2年度予算額	令和元年度予算額	増減	備考
講演会費	160,000	160,000	0	講演料、講師旅費、手土産代、
会場使用料	50,000	50,000	0	生涯学習センターホール使用料
役員会費	10,000	10,000	0	事務局会旅費、茶菓子代
事務費	30,000	30,000	0	用紙、文具購入費
通信費	30,000	30,000	0	通知発送切手代
かみとくれん負担金	30,000	30,000	0	サポート会議費用等
予備費	29,370	31,370	-2,000	
合計	337,607	341,370	-3,763	



# 上伊那特別支援教育研究会 規約

## 第1章 名称

第1条 本会は、上伊那特別支援教育研究会とする。

第2条 本会は、事務局を会長が委嘱する学校におく。

## 第2章 目的

第3条 本会は、発達がいや精神的課題を抱えた子ども、またその家族を支えていくための会員による主体的な研修会を行い会員相互の資質の向上を図るとともに、特別支援教育の振興に寄与することを通して、広く保護者・地域へその成果を発信し特別支援教育に対する理解を高めていくことを目的とする。

- (1) 実際に臨床に関わり、実践されている講師の先生方をお呼びしての研修会開催
- (2) 教育・保育に携わる会員及び教育保育関係者の実践発表を通しての学びあい
- (3) 広く保護者・地域への呼びかけ、様々な「生きにくさ」「学びにくさ」を抱えた子どもの教育について共に学び合う場、相談の場としての研修会の開催

## 第3章 事業

第4条 本会は、第二章の目的を達成するために、次の事業を行う。

- (1) 特別支援教育の研究実践とその発展
- (2) 会員の研究と発表の助成
- (3) 保護者、地域と共に学び合う場としての研修会の開催
- (4) その他必要な事業

## 第4章 組織

第5条 本会は、会の目的に賛同するものをもって会員とする。

第6条 本会の会員を正会員とし、必要に応じて顧問をおく。

## 第5章 役員

第7条 本会は、下記の役員をおき、その任期を一年とする。但し、その再任を妨げない。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 2名
- (3) 理事 若干名
- (4) 事務局・会計 若干名
- (5) その他必要な役員

## 第6章 役員の仕事

第8条 会長は、この会を代表し、会務を統括する。

副会長は、会長を補佐し、会長事故ある時は代理する。

代表理事は、計画にそって事業を推進する。

理事は、会長の委任する会務に当たる。

事務局会計担当者は、会の会計を行い、結果を会員に報告する。

## 第7章 会議

第9条 本会は、下記の会議を行う。

- (1) 総会は年一回とし、規約の改正および重要会務を議決する。
- (2) 理事会は必要に応じて会長がこれを招集し、必要な協議ならびに議決を行う。

## 第8章 会計

第10条 本会の経費は、正会員の納める会費その他の収入をもってこれに充てる。会費は上伊那教育会に加入できる上伊那地区小学校・中学校・特別支援学校教員は年額1,200円、上伊那教育会に加入できないものは年額500円とし、年度当初事務局に納める。

第11条 会計は、毎年4月1日より翌年3月31日をもって年度とする。

## 第9章 規約

第12条 この規約の変更は、総会の議決による。

第13条 この規約は、平成30年度「上伊那特別教育支援研究会」総会をもって発効する。